

平成21年度 「いしかわ女性のチャレンジ賞」被表彰者

《個人 5件》

| 氏名(所属)  | 市町  | 活動内容  |
|---|-----|---|
| きんしち せいこ<br>金七 聖子<br>(奥能登ウェルカムプロジェクト<br>「奥能登食彩紀行」プロ<br>ジェクトチームリーダー) | 能登町 | 奥能登ウェルカムプロジェクト推進協議会の「奥能登食彩紀行」プロジェクトチームリーダーとして、特に、「能登井」の取り組みにおいてはPR手法、スタンプラリーの実施、「コンパクト井」の導入など様々なアイデアを提案し、地域資源を活用した地域振興の成功事例に導く。         |
| さわだ あきこ<br>澤田 明子<br>(株)Harmony with<br>取締役)                         | 内灘町 | 酪農農家に嫁ぎ就農し、河北潟の酪農家で初めて「家族経営協定」を締結。<br>平成20年6月に牧場を法人化し、「(株)Harmony with(調和)」を夫と共に設立して取締役として牧場経営に参画。酪農体験教室に取り組むなど若い農村女性による経営参画のモデル的存在となる。 |
| なかむら けいこ<br>中村 恵子<br>(金沢市校下婦人会<br>連絡協議会家庭教<br>育委員長)                 | 金沢市 | 平成18年に四十万校下婦人会を発足して初代会長となり、翌年金沢市校下婦人会連絡協議会の家庭教育委員長に就任。伝統料理や祭り料理など三世代交流の料理教室を開催し、「向こう三軒両隣」の地域交流の復活を目指して婦人会活動を牽引。                         |
| ひろおか きちこ<br>廣岡 幸子<br>(輪島市食生活改善<br>推進協議会理事)                          | 輪島市 | 地域の婦人を対象に食生活改善普及活動を行ってきたが、平成20年度から児童館を利用する乳幼児と保護者を対象に、食生活改善を通じ“元気な輪島っ子”を育む活動を行う。<br>近隣の住民やボランティアグループにも参加を呼びかけながら活動を地域へ広めている。            |
| やすもと ともこ<br>安本 知子<br>(白山商工会白山麓<br>賑わい創出事業実<br>行委員会委員)               | 白山市 | 母親が経営するペンションを事業継承し、白山商工会及び同会女性部に入会。<br>平成20年6月に観光業部会の役員及び白山麓賑わい創出事業実行委員会委員に就任し、「白山百膳」事業を中心に白山麓の魅力をメディアを通して積極的にPRし、地域の活性化と観光誘客に貢献。       |

《団体・グループ 2件》

| 団体名(代表者)   | 市町  | 活動内容  |
|--|-----|---|
| じょせいきぎょうかこうりゅうかい<br>女性起業家交流会<br>in HOKURIKU<br>(代表 はぎはら ふみこ<br>萩原 扶未子) | 金沢市 | 女性の特性や視点を活かした女性起業家育成支援を中心に行い、女性の社会参画を含め地域経済の活性化を目指す。起業ノウハウだけでなくネットワーク構築やチャレンジショップへの出店などきめ細かな支援のほか、調査をベースにした施策への提言や行政・関連支援機関などへの橋渡し役も担う。 |
| レディースベンチャー<br>グリーンプラネット<br>(代表 おおとも えりこ<br>大友 恵利子)                     | 金沢市 | エコについて問題意識を持ち、又環境ビジネスとして捉える企業の女性メンバーで立ち上げたグループ。生活全体のエコライフを提言しようと勉強会を開催。女性の視点からエコ商品開発や販売などに取り組み一定の成果を上げている。                              |